



KARATSU SHINKIN BANK

Mini Disclosure

2024年9月期



親しみ・信頼・確かな未来

唐津信用金庫

はじめに



日ごろより唐津信用金庫に対しまして格別のご愛顧、お引き立てを賜り誠にありがとうございます。

本年もここにミニディスクロージャー誌「KARATSU SHINKIN BANK Report2024年9月期」をご報告させていただきます。当金庫の業務内容や財務内容などについて、より一層ご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

これからも地域の皆様から期待され必要とされる金融機関であり続けるために、健全経営の堅持に努め、役職員の総力を結集して顧客満足度を高める活動を進めてまいりますので、何卒変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年11月

理事長 富永裕一

経営理念

～親しみ・信頼・確かな未来～

～4つのビジョン～

・信用金庫の特性を発揮します

・経営体質の強化に努めます

・経営の健全性を確保します

・魅力ある職場を目指します

当金庫の概要

創業	1929年12月24日
本店所在地	佐賀県唐津市大名小路310番地の35
出資金	228百万円
会員数	8,565人
預金積金残高	95,707百万円
貸出金残高	53,802百万円
常勤役員数	98人
店舗数	8店舗

(2024年9月末現在)



唐津信用金庫SDGs宣言

唐津信用金庫では ～親しみ・信頼・確かな未来～ を経営理念として掲げています。その実現に向けて2015年国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」達成への取り組みを通じ、地元の中小企業者や住民の多様化・複雑化する社会課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関として当金庫のビジネスモデルを踏まえたくうえで取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

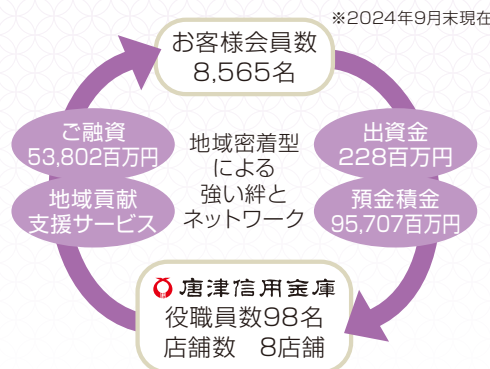


令和6年度の事業概況

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、唐津・東松浦地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



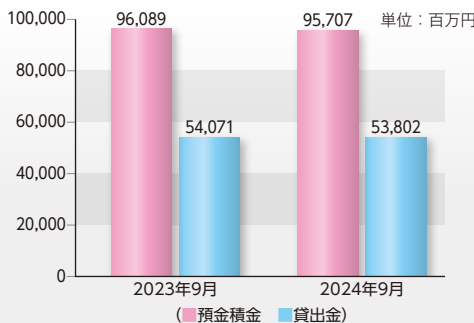
預金積金、貸出金について

預金面・融資面におきましては、地公体等公金の獲得を抑えた推進を行いまして預金の9月末残高は、前年同月末比382百万円減少し95,707百万円となり、融資の9月末残高は前年同月末比269百万円減少し53,802百万円となりました。

■預貸金の推移

単位：百万円

	2023年9月	2024年9月
預 金 積 金	96,089	95,707
貸 出 金	54,071	53,802



■業種別貸出金の状況

単位：百万円

業 種	2023年9月			2024年9月		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	58	2,143	3.9%	56	2,009	3.7%
農 業 ・ 林 業	20	317	0.5%	21	285	0.5%
漁 業	6	88	0.1%	4	57	0.1%
鉱 業	2	23	0.0%	2	26	0.0%
建 設 業	162	2,505	4.6%	157	2,389	4.4%
電 気、ガ ス 熱 供 給、水 道 業	7	313	0.5%	8	418	0.7%
情 報、通 信 業	2	78	0.1%	4	94	0.1%
運 輸 業	23	346	0.6%	23	306	0.5%
卸 売 業、小 売 業	208	4,038	7.4%	200	3,911	7.2%
金 融、保 険 業	9	867	1.6%	10	765	1.4%
不 動 産 業	112	6,199	11.4%	118	6,775	12.5%
物 品 賃 貸 業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
学 術 研 究、専 門、技 術 サ ー ビ ス 業	14	109	0.2%	13	95	0.1%
宿 泊 業	18	616	1.1%	15	503	0.9%
飲 食 業	151	1,331	2.4%	144	1,285	2.3%
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業、娯 楽 業	63	1,525	2.8%	64	1,383	2.5%
教 育、学 習 支 援 業	5	106	0.1%	5	121	0.2%
医 療、福 祉	34	929	1.7%	37	1,027	1.9%
そ の 他 サ ー ビ ス 業	98	1,434	2.6%	100	1,480	2.7%
小 計	993	22,977	42.4%	982	22,939	42.6%
地 方 公 共 団 体	2	5,924	10.9%	2	5,688	10.5%
個 人 (住 宅、消 費、納 税 資 金 等)	6,143	25,169	46.5%	5,931	25,174	46.7%
合 計	7,138	54,071	100.0%	6,915	53,802	100.0%

業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

収益について

収益状況におきましては、貸出金利息は8百万円増加、預け金利息も16百万円増加となるものの有価証券利息は36百万円減少となり、資金運用収益は11百万円減収しました。また、債券の売却によるその他の業務収益が12百万円増加、投資信託の売却による臨時収益が19百万円増加したことから、経常収益は前年同月比22百万円増収の815百万円となりました。

費用状況におきましては、金利上昇により預金利息が7百万円増加、資材高騰等の影響で物件費8百万円が増加、国債等の売却損が15百万円増加したことで業務費用は33百万円増加しました。また、株式売却損・個別貸倒引当金繰入を含む臨時費用が12百万円増加したことで、経常費用は前年同月比46百万円増加の643百万円となりました。

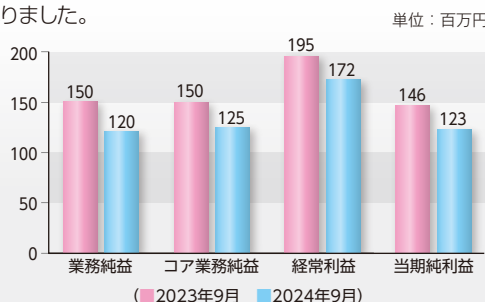
その結果、経常利益は前年同月比23百万円減少の172百万円となり、当期純利益は123百万円となりました。

また、金融機関の本来的な収益力を示すコア業務純益は、125百万円となりました。

■損益の状況

単位：百万円

	2023年9月	2024年9月
経 常 収 益	793	815
業 務 純 益	150	120
実 質 業 務 純 益	150	122
コ ア 業 務 純 益	150	125
コ ア 業 務 純 益 (除く投資信託解約損益)	108	125
経 常 利 益	195	172
当 期 純 利 益	146	123



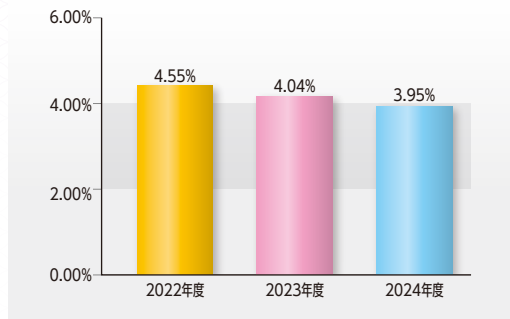
信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

2024年9月末現在で資産査定を実施した結果、貸出金や債務保証見返等を含めた金融再生法に基づく不良債権額は2,134百万円となりました。なお、貸出金等の総与信に対する不良債権額の割合は前期末対比0.09ポイント減少して3.95%となりました。

単位：百万円、%

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2023年度	346	346	101	245	100.00	100.00
	2024年9月	364	364	94	270	100.00	100.00
危険債権	2023年度	1,705	1,586	1,288	298	93.02	71.46
	2024年9月	1,633	1,520	1,238	282	93.08	71.39
要管理債権	2023年度	143	23	23	0	16.08	0.00
	2024年9月	137	23	23	0	16.79	0.00
三月以上 延滞債権	2023年度	0	0	0	0	0.00	0.00
	2024年9月	0	0	0	0	0.00	0.00
貸出条件 緩和債権	2023年度	143	23	23	0	16.08	0.00
	2024年9月	137	23	23	0	16.79	0.00
小計 (A)	2023年度	2,194	1,955	1,412	543	89.11	69.44
	2024年9月	2,134	1,907	1,355	552	89.36	70.86
正常債権 (B)	2023年度	52,142					
	2024年9月	51,953					
総与信残高 (A) + (B)	2023年度	54,336					
	2024年9月	54,087					

金融再生法に基づく開示債権比率の推移



- (注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 3.「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 6.「正常債権 (B)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
- 7.「担保・保証等による回収見込額 (c)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 8.「貸倒引当金 (d)」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
- 9.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

唐津くんち歴代ポスター展開催

2024年10月18日(金)より、当金庫本店営業部ロビーにおいて「唐津くんち歴代ポスター展」を開催いたしました。

同ポスター展は、地域祭礼行事の活性化に寄与できればと開催したものです。来店されたお客様に大変好評をいただきました。



スポーツ振興への支援

2024年4月13日(土)から4月27日(土)にかけて「第5回唐津信用金庫旗争奪少年軟式野球大会」(参加:16チーム)を開催いたしました。

当金庫は地域の発展を担う子供たちへの支援をこれからも続けてまいります。



自己資本比率について

金融機関の健全性を示す自己資本比率は8.74%となり、引き続き国内基準の4.00%を上回る高い健全性を維持しています。当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客様に対する金融仲介機能の発揮に努めるとともに、経営の健全性維持と収益力の向上の両立を目指しています。

2024年9月期は、自己資本額3,498百万円と76百万円増加し、分母となるリスクアセットは増加したものの自己資本比率は8.74%と0.10ポイント増加しました。

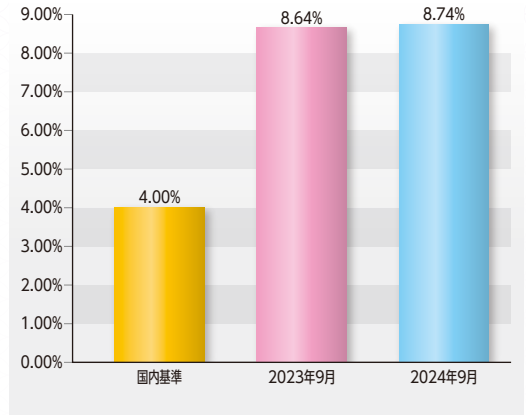
なお、9月期の仮決算は、9月末の残高を基準に時価補正を行うなど、決算手続きに準じて計算を行っておりますが、簡便な取扱となっており、法定決算手続きによるものではありませんので、税効果等により変動することがあります。

あくまで9月末の目安として捉えておりますのでご了承願います。

■自己資本比率

単位：百万円

	国内基準	2023年9月	2024年9月
コア資本に係る基礎項目（イ）		3,437	3,510
コア資本に係る調整項目（ロ）		15	11
自己資本額（イ）－（ロ）（ハ）		3,422	3,498
リスクアセット等合計額（ニ）		39,607	40,006
自己資本比率（ハ）／（ニ）	4.00%	8.64%	8.74%
総所要自己資本額		1,584	1,600



（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

有価証券の状況について

有価証券運用におきましては、現在の超低金利の状況に対応し、比較的 안전한債券運用に加え運用の多様化を図り、投資信託等による運用ヘッジトシ効率化を図っております。当年度の運用方針を定め、計画的に残高を積み増し収益の確保を図ってまいりました。また預け金につきましても定期預金を中心に運用等利回りの向上に努めました。今後とも安全で安定的な運用を基本として運用利回りの向上に努めてまいります。

■満期保有目的の債券

単位：百万円

	種類	2023年9月			2024年9月		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	債券				200	199	▲1
	地方債				100	99	0
	社債				100	99	0
	外国証券	200	179	▲21	300	287	▲12
合計		200	179	▲21	500	486	▲13

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

■その他有価証券

単位：百万円

	種類	2023年9月期			2024年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	264	138	126	297	145	152
	債券	4,470	4,403	67	3,933	3,901	32
	国債	703	700	3	600	597	3
	地方債	1,510	1,499	11	1,501	1,499	2
	社債	2,256	2,203	53	1,830	1,803	27
	外国証券	310	305	5	200	198	2
	その他	2,481	2,228	253	1,814	1,615	199
小計	7,527	7,075	452	6,244	5,860	384	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	12	14	▲2	6	7	▲1
	債券	6,749	6,966	▲217	7,815	8,068	▲253
	国債	2,353	2,479	▲126	2,621	2,781	▲160
	地方債	2,192	2,259	▲67	2,496	2,559	▲63
	社債	2,203	2,227	▲24	2,697	2,727	▲30
	外国証券	1,940	2,071	▲131	1,589	1,671	▲82
	その他	7,091	8,493	▲1,402	6,650	7,945	▲1,295
小計	15,794	17,545	▲1,751	16,061	17,691	▲1,630	
合計		23,322	24,621	▲1,299	22,306	23,552	▲1,246

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

店舗網

①本店営業部・②朝日町支店



唐津市大名小路310番地の35

☎ (0955) 73-3105

③西唐津支店



唐津市西唐津2丁目6223-23

☎ (0955) 72-8341

④浜崎支店



唐津市浜玉町浜崎1269

☎ (0955) 56-6814

⑤相知支店



唐津市相知町相知1948

☎ (0955) 62-2555

⑥和多田支店



唐津市和多田南先石8-2

☎ (0955) 74-7101

⑦町田支店



唐津市町田1丁目8-3

☎ (0955) 74-4421

⑧山本支店



唐津市山本1502-3

☎ (0955) 78-1146



店外キャッシュコーナー

- まいづるショッピングプラザ 唐津市大名小路24-1
- まいづる999 唐津市町田2129-1
- イオン唐津店 唐津市鏡4671